

21.8

昭和38年度病室合同実習

I 実習の目的

総合的な実習体系の一環として行うもので、医学的観察法を基本的に理解し、それに基づいて総合的な患者管理を習得することを目的とする。

II 実習の運営

臨床四講座及び基礎看護学講座各主任の共同責任にて行い、4年生の実施に際しては臨床才1講座(内科)、才2講座(外科)が、それぞれ責任をもつ。その他の衛看各講座、分院の協力を得る。

各病棟においては医師、看護婦及び衛看教官が、臨床指導の責任をもつ。

III 実習日時

- 前半は9月16日(月)より9月26日(木)までとし、後半は9月27日(金)より10月5日(土)までとする。4年生は前半は外科、後半は内科とし、3年生は前半は内科、後半は外科とする。
- 実習は午前8時30分より午後4時30分まで行い。午前8時30分より午前9時20分までクルズスが施行される。クルズスのない日は、午前8時30分より病室に出る。
- 病室実習は午後3時30分までとし、3時30分より4時30分まで各病棟で検討会を行うを原則とする。

IV 実習内容

4年：自己の選択するテーマをもつて、患者管理を実習するが、特に、内科及び外科の医学的知識と観察法の理解を深める。

3年：次の事項を習得する。

- 1) 個々の患者のすべてのニーズの発見。
- 2) 内科的、外科的疾患を中心とする医学的知識と観察法の理解。
- 3) 患者に関する資料の集め方及び資料の検討の仕方。
- 4) 患者管理計画をたて、可能な範囲におけるその実施、成果の検討。

2. クルズス

4年：希望により出席する。

3年：必ず出席する。

前 半	16日 (月)	17日 (火)	18日 (水)	19日 (木)	20日 (金)	23日 (月)	25日 (水)	26日 (木)
	オリエンテーション (才三講義室) 4年3年合同	患者食 (栄養士 川田)	患者の心理 (神経科)	内科的救急法 (岸井)		慢性疾患 患者の管理 (石川)	特異患者の 性 (官川)	カンファレンス (特別) 症例発表
後 半	27日 (金)	28日 (土)	30日 (月)	1日 (火)	2日 (水)	3日 (木)	4日 (金)	5日 (土)
	オリエンテーション		無菌的操作 (赤沢)	輸血輸液(1) (古屋)	輸血輸液(2) (森岡)	外科的救急法 (岡本)		カンファレンス (全員)

3. 検討会

構成 - 学生, 医師, 看護婦及び衛看教官

内容 - その日に起つたこと, またはあらかじめ選んだトピックに基づいて行う。

4. カンファレンス

(2部) 1st (7 group)

各科終了日には, 各科ごとに症例発表会を行う。ただし, 合同実習終了日(10月5日)には, 全員による反省会を行う。(1部)

V レポート提出

4年: 専門的観点から, 受持った患者を対象に選んだテーマにつき, レポートを作成する。提出は, 冬学期才1週中とする。(内科, 外科各1題)

3年: 実習中に受持った患者を, 内科および外科より一例ずつ選び, レポートを作成する。レポートは担当衛看教官に, 内科は9月27日, 外科は10月7日に提出する。(研修用紙10枚以内)

4年3年: 別紙実習記録用紙に記入の上, 各科実習終了後提出する。

VI 評価

実習内容, 出席日数, レポートによつて総合評価する。

4年 - 内. 外.

3年 - " "

基準 (内. 外. report 各 1 題, 70% 以上 評価可)

} 評価可  
基準に達する  
報告に達する。

内科:

学生 2 = pt 2. — Dr 1. } : 記録 1  
" 2 " 2 — " 1 }

室の主任の氏名

外科:

2 groups 4 人

# 合同病室実習記録

学生氏名 \_\_\_\_\_

番号 \_\_\_\_\_

実習期間 自 昭和 年 月 日  
至 昭和 年 月 日

病棟

受持患者 (氏名, 年令, 性別, 診断)

実習事項

経験

見学

実習についての感想

26th conference:  
 pt. (三上君-26号室) 学生 (小野)  
 No. 26号室, 建設院 pt. 三上君 先生

参考資料 1

患者管理上の一般技術及び検査技術を習得する。

参考事項

1. 一般技術及び処置

例えば 患者の清拭, 結髪, 洗髪, 更衣, シーツ交換, 患者の動かし方,  
 消毒法, 検温, 検脈, 呼吸, 血圧測定, 肺活量測定, 赤沈等  
 褥瘡の予防及び手当, 経管栄養法, 酸素吸入, ネブライザー, 輸血, 輸液, 包帯法及び  
 包帯交換, 注射 (皮内, 皮下, 筋注, 静注)  
 洗滌 (胃洗滌等) 電法 (湯タンポ, 氷枕, 氷のう, 温湿布, 冷湿布)  
 導尿 浣腸

2. 一般的検査法 (その一)

- (1) 尿
  - a. 肉眼的観察, 比重測定
  - b. 病的成分の化学的検査 (蛋白, 糖, アセトン体, ビリルビン, ウロビリ  
ン体)
  - c. 顕微鏡的検査
- (2) 糞 便
  - a. 肉眼的検査
  - b. 顕微鏡的検査 (直接塗抹法, 集卵法)
  - c. 化学的検査 (潜血反応)
- (3) 喀 痰
  - a. 肉眼的検査
  - b. 顕微鏡的検査 (細胞診, 細菌学的検査)
- (4) 穿 刺 材 料
  - a. 各種穿刺法の準備
  - b. 漏出液及び滲出液の区別
  - c. 採取材料の顕微鏡的検査
- (5) 血 液
  - a. 各種採血の準備と方法
  - b. 物理的, 物理化学的性状の検査
  - c. 細胞成分についての検査
- (6) 胃 液
  - a. 胃液検査法 - 採取法, 化学的検査
- (7) 脳 脊 髄 液
  - a. 腰椎穿刺及び後頭下穿刺の準備
  - b. 脳脊髄液の性状
- (8) X 線 検 査
  - a. 各種 X 線検査法

3. 臨床検査法 (その二)

- (1) 循環器系
  - 心臓及び血管機能検査
    - 静脈圧測定, 循環時間, 心電図, X線による検査, 運動負荷試験
- (2) 呼吸器系
  - 肺機能検査, レントゲン検査, ツベルクリン反応
- (3) 消化器系
  - 胃及び腸のレントゲン検査 ..... 準備方法, 読影
  - 肝臓機能検査
  - 胆のう, 胆道撮影法
  - 脾臓機能検査
- (4) 泌尿器系
  - 腎臓機能検査
    - a. 色素排泄試験
    - b. 濃縮及び稀釈試験
    - c. クリアランス試験
    - d. 血液化学検査
- (5) 血 液
  - 骨髓穿刺
- (6) 新陳代謝及内分泌障害
  - a. B.M.R. 測定
  - b. Thorn 試験 17ケトステロイドなど
  - c. 血糖
- (7) 神経系疾患
  - 機能検査, 反射検査

學生實習配置表

病室名	受持医	捕長	迎看	病床数	学	生	備考
初 一 週 (九月十六日~九月二十六日)	中央館 1号	大原 百瀬	杉井	12	秋山 五十嵐 大	羽取 福物 田部 追井	
		後藤 泰 沢	沢		酒井 山下 秦 中		
初 二 週 (九月二十七日~十月五日)	中央館 12号	上村 荒川	杉井	14	大場 津島 小坂	中本 島 山 菱 田 小	
		西中 總(永木) 柳倉	原 田 安 藤		田竹 滝玉 富 置川		
中央館 12号	上村 荒川 總(永木) 柳倉	杉井	栗栖 前原 口	14	大 奥 小 川 藤 藤 加 加	須立 官行 田 沢 下 本	
					大原 百瀬 後藤 泰 沢	鎌河 草倉 根 椋 小 古 取 西 森 賀 本	

註。 初1週は4年生 初2週は3年生 9月21日、体检